

Title: 「through the lens diary」



今泉 早人
出身：新潟県 好きな食べ物：カレーライス、生がき、いもけんぴ 主義：かぜをひいても薬を飲まず、自分の免疫力だけで治す事。今回もなるべく薬に頼らず免疫力で勝負！！

[through the lens diary](#) > 2006年07月 アーカイブ

[◀ 30.July](#) | [トップページ](#) | [2.August >](#)

06.07.31

31.July



● 最近のエントリー

- 📅 [31.July](#)
(2006.07.31)
- 📅 [30.July](#)
(2006.07.30)
- 📅 [29.July](#)
(2006.07.29)
- 📅 [麗江](#)
(2006.07.20)

● アーカイブ

- 📅 [2007年02月](#)
- 📅 [2006年09月](#)
- 📅 [2006年08月](#)
- 📅 [2006年07月](#)
- 📅 [2006年06月](#)
- 📅 [2006年05月](#)
- 📅 [2006年04月](#)
- 📅 [2006年03月](#)

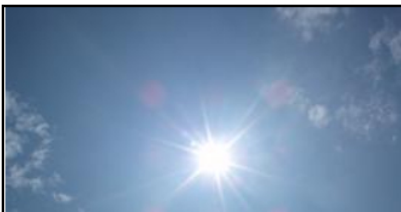
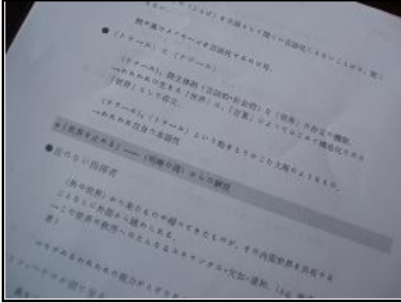
● ブックマーク

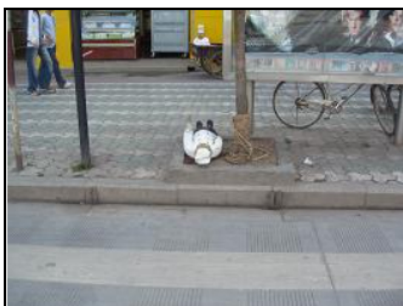
学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE

OLYMPUS

Your Vision, Our Future

RSS 2.0





今日はあまり移動しない日だった。

明日、北京に移動する。
麗江で13日間過ごした。毎日町を歩いた。旧市街を歩いた。

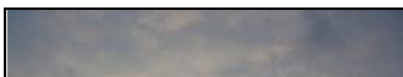
カテゴリ：

post by 今泉 早人 | 日時: 2006.07.31 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[« 29.July](#) | [トップページ](#) | [31.July »](#)











カテゴリ:

post by 今泉 早人 | 日時: 2006.07.30 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[« 麗江 | トップページ | 30.July »](#)

06.07.29

29.July











カテゴリ:

post by 今泉 早人 | 日時: 2006.07.29 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[« 中国滞在報告 | トップページ | 29 July »](#)

06.07.20

麗江

7月20日です。昨日、麗江に到着しました。予定ではもう一日前に到着する予定でしたが、パスポートを航空券売り場に忘れるという失態を犯してしまい、一日遅れで到着しました。その節は多くの方に迷惑をかけてしまい深く反省しているところであります。

さて、僕の麗江の印象は一言で言うと立派な観光地です。日中はいたるところで団体ツアー客を目にしますが、その全てが麗江古城を中心とした旧市街を訪れるのだらうと思います。旧市街がどのような所かは、ガイドブックやネットで検索すればその素晴らしさが語られていると思うのでそちらにお任せしますが、とにかく僕もその素晴らしさに惹かれてしまった一人なのです。まさに観光地のお手本ですね。純粋に観光をさせられてしまいました。ちなみに旧市街は世界遺産に登録されています。



そして、銀行の多さにびっくり。歩いていると5分おきくらいにATMがあるので。古い木造建築の中のATMがとても不釣り合いに見えます。



こんな歴史ある観光地にもこっそりと日本文化が隠れていました。





(左端にドラえもんが！)

しかし、なんととっても一番の驚きがネット環境です。
麗江網城（訳すとインターネットのお城？）なるものがあり、ざっと数えただけでも300台くらいあります。噂では、中国のネット環境はそれほど行き届いていないと聞いていたので驚きでした。しかもこんな地方都市で。しかも、今まで3台使いましたが、どの席でも日本語が打てました。



(写真の右側にもずらっと席がある。)

写真は日中早い時間なので空いていますが、夜は地元の若者で8割くらい埋まっています。

部屋では今回のフィールドワーク初のこんなものが登場しました。



(見た目はいいが10分くらいしてやっと満足できるお湯が出る。しかも、隙間からお湯が漏れてバスルームの床が水浸し。)

カテゴリ：

post by 今泉 早人 | 日時: 2006.07.20 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[« snaps in nepal](#) | [トップページ](#) | [麗江](#) »

06.07.17

中国滞在報告

7月17日現在、私は雲南省、昆明にいます。今回は久々のアップです。ネパール以来ですので、10日ぶりくらいになります。

というわけで、これまでの私の状況を報告しますと、まず、中国での最初の到着地、ラサでは体調不良のため、ほとんどホテルのベッドで過ごしていました。頭痛と倦怠感、微熱という症状が現れました。おそらく高山病だったのだと思います。しかし、私は病院と薬というものには本当に必要にならない限り頼らないので、水、オレンジジュース、果物、ゼリー、飴で栄養を摂りながら回復させました。同室だった田栗君はメロンを買ってきてくれたり、携帯用酸素をわけてくれたりしてくれました。田栗君、ありがとう。残念ながら予定していたポタラ宮には行けませんでした。高山病になるかならないかは、その人の体質によるものらしく、トレーニングなどによって改善されるものではないそうです。ならないようにするためには少しずつ高度を上げていくしかないらしいです。となれば僕はラサに行くには飛行機を使わず、徒歩か自転車で行くしかないみたいです。せっかくチベット仏教に興味を持ち始めたのに....

次に成都。ここはとても立派な都市でした。大きな街で、高層ビルがいくつもあり、交通機関は効率よく整備され、全体にゴミが無ききれいでした。若者はファッションブルでした。(僕がそう感じたのは無意識に今まで訪れた国と比較しているからなのかもしれませんが、今の僕には東京と比べることは出来無いと思います。)少し面喰らったと同時に、居心地の好さを感じました。それは街全体が日本の都市と近い構造をしているからだろうと思います。しかし、そのすぐ後に物足りなさも感じました。タクシーで交渉したり、ボッタクられないだろうか？

気がしたり、街中で葉っぱを落とすと言いつつ寄ってくるやつもないし、とてもクリーンな街なのですが、全てが予定調和みたいなのです。店頭には並んでいる商品は種類が豊富で、便利なものが多いのですが決まったものばかりで、うお！これは！！みたいな物が無いのが物足りない。でも実際、中国ではこれらがバンバン売れているんでしょうね。そういえば成都にはなぜか居心地の悪い空間があったわけ。



成都中心部の一角

そして、昆明。ここも成都同様立派な都市です。やっぱり成都と同じことが言える。街の構造にさほど違いは無い。もしかして中国の地方都市は全部こんな感じなんだろうか。ああ、なぜかネットカフェのオネえさんがもう止めると言い出したのでここでやめますが、とにかく明日から麗江での撮影です。がんばります。(下の写真は昆明)



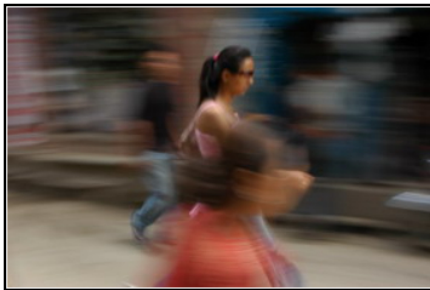
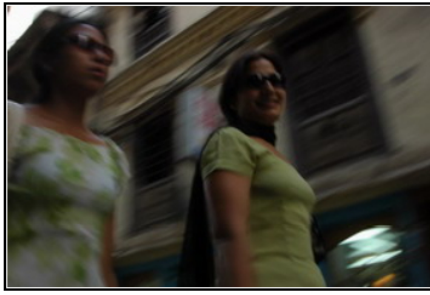
カテゴリ:

post by 今泉 早人 | 日時: 2006.07.17 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[«ネパール人のサッカー熱 | トップページ | 中国滞在報告»](#)

06.07.07

| snans in nepal





カテゴリ:

post by 今泉 早人 | 日時: 2006.07.07 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[« インドの宝石商](#) | [トップページ](#) | [snaps in nepal »](#)

06.07.04

ネパール人のサッカー熱

7月1日夜、カトマンドゥから南に数分のところにあるパタンのダルバル広場はネパール民衆の熱気であふれかえっていた。ワールドカップ決勝トーナメント準決勝、イングランド対ポルトガル戦が大型スクリーンで上映されていたのだ。ダルバル広場は歴史ある建築が多く集まっており、昼間は地元の人たちの憩いの場となっている。その広場が夜になると豹変するのだ。全ての照明が消えて、大衆の姿は消され、そこにあるのはスクリーンと大衆の歓声だけになる。大衆はどちらを応援するわけでもなく、とにかく面白い展開になるたびに歓声を上げていた。純粋にサッカーを楽しんでいた。

この広場で友達になったガガンは言う。「俺はアジア勢を応援していたんだけどさ、全部負けちゃっただろ。この広場の人はみんな日本を応援していたんだぜ。でも次はイタリアに期待してるね。イタリアの国が好きだから」。僕は言ってやった。「日本のサッカーは見てて楽しくないでしょ？俺は正直そう思うよ。特にブラジルのサッカーを見た後なんかキツイっしょ。嫌いじゃないんだけど、やっぱり見る側としては楽しいほうがねえ。サッカーに関してはナショナルチームとしての今の日本には期待してないね。実は俺もイタリアを応援してんだよね。好きなんだよ、俺もイタリア。日本なら当分は野球のほうを期待してよ。そのほうがずっと楽しめるよ」。その後かるくイタリア話で盛り上がった。彼は近く、日本で何年か仕事をして金を貯めて、イタリアで暮らすらしい。彼の仲間も様々な国名を挙げて自分の将来を語った。既に日本やフランスでネパールアートのビジネスをして今はネパールで遊んでいるやつもいた。24歳らしい…。このやろうやるじゃねーか…。





昼のダルバール広場



夜のダルバール広場

[その他の画像1](#)

[その他の画像2](#)

カテゴリ:

post by 今泉 早人 | 日時: 2006.07.04 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)